

Windows のバージョンにもよりますが、良く見えない場合は
ブラウザ Safari Windows版を推奨します。 [Safai ダウンロードはこちら](#)

このページのプリントがうまく出来ない場合は[こちら](#)をプリントしてください

2011年新モデル グランドピアノ消音システム

[サイトマップ](#)



Magic Star Sモデル グランド用消音システムが生まれ変わりました。

2008年春の発表より大変好評いただいていた、マジックスター後付けグランドピアノ用消音ユニットのハンマーミュートシステムが、この度、新型Sセンサーの導入と共に全く新しいタイプに生まれ変わりました。

ミュートレールが回転軸によるモーター回転式になり、より確実な消音効果を得ることできるようになりました。さらに消音位置の高さ設定を既存のミュートレール上下タイプに比べ、より高い位置に取付けることが出来るようになり、標準レットオフ調整が3～4 mmでの調整が可能になりました。

そして、取付け技術者にも大変やさしい設計となっております。
アクションの出し入れ時にはミュートレールを一段下げて固定できるため、消音システムを取り外すことなくアクションを引き出すことができます。
また、アクションを入れた後のミュートレール位置復元も、簡単なドライバーなどでワッタッチで復元されます。

アクションの整調のためにハンマーを持ち上げる際、ミュートレール全体を手前に回転させることができますので、ミュートレール類を外すことなく、普通の状態でのグランドアクション整調が可能です。

取付け金具などはあらかじめ工場にて組立て出荷されますので、そのままセンターレールに取付けていただき、各セクションに合わせて、レールの長さを切る作業のみでミュートレールが組み上がりますので、非常に取付けが簡便になりました。

さらに新型Sセンサーの反応が約50%の鍵盤の戻りで次の電子音打鍵が可能になったためアコースティックグランドにより近いトリルの表現が可能になりました。

以下は模型写真及び、実際の取付け工程写真をご参考ください。。

[マジックスタートップへ](#)

▶ スライドショーを再生

📌 登録



ミュートOFF状態



モーター回転にてミュートON状態になります。



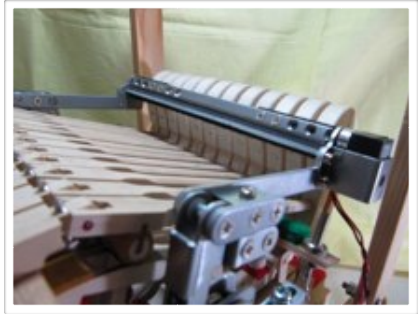
ミュートOFF状態



ミュートON状態
モーターは最低音と最高音部の
2カ所に取付けられます。



ミュートOFF状態



ミュートON状態



ミュートOFFでの打弦



ミュートONでの消音状態



レットオフは3~4mm程度の範囲で
調整可能になりました。



最初にキーセンサーを取付けます。



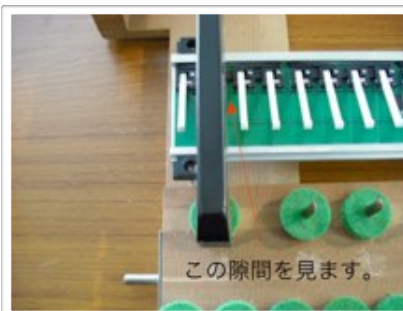
鍵盤幅の狭いピアノはセクションに分
かれた基盤を狭めることができます。



アクチュエーターの根元の黒いところ
を親指で押してください。



狭まりました。



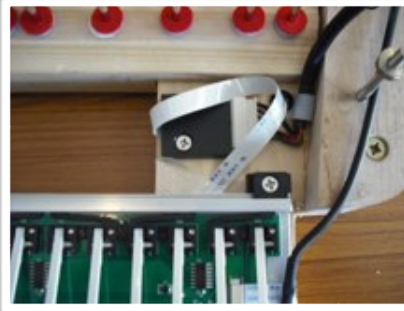
この隙間を見ます。

左右位置はA#2とA#86を入れて、
内側の隙間を同程度にします。



この隙間を見ます。

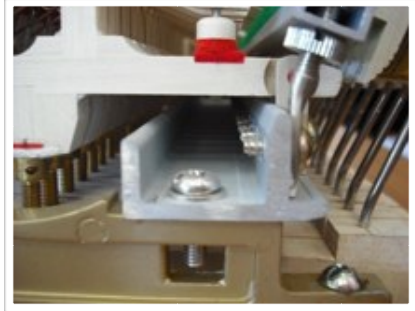
前後はフロント寄りに寄せます。



コネクター部の取付けの一例です。
キーボードケーブルの薄い部分をセンサーレールの下を通しました



センサーレールの下を通す場合、上下スプリングにケーブルが噛まないように気をつけてください。



カワイなどはハンマーレールを固定するスクリューがウィッペンレールの内側へ飛び出しています。



バランスパンチングをワッシャー代わりに使い、ウィッペンレールの内側に余り出ないようにしました。



回転レバー軸を立てるベースを付けます。ブラケットに固定しているネジを一旦はずし、そのネジで再度固定しま



ヤマハは、次高音部のブラケットネジが少し寄っているの、固定穴が真ん中



いつも活躍するポンチです。



ヤマハ系の4本ブラケットの場合、最高音部と次高音部の間に穴を開け、ベースを付けます。



最初は下穴を小さく開けましょう。



次にM6の穴を貫通しました。



裏面から固定する様子。



しっかりと締めます。



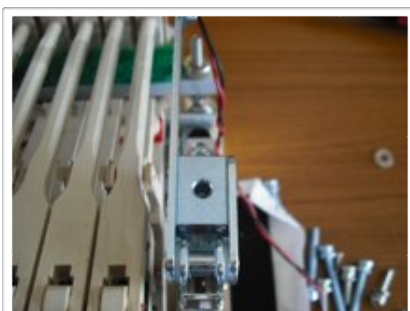
裏面からボルトを通します。
アームを固定する穴がシャック間の中間になるように調整します。



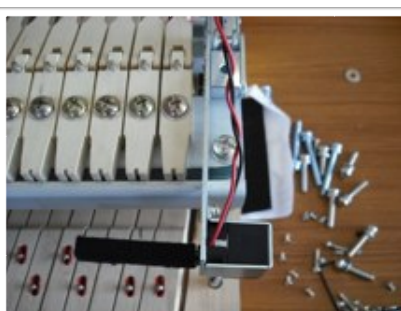
中間セクションパーツです。工場で組立て出荷されますので、そのままセンターレールに取付けるだけです。



最高音、最低音セクション用の回転モーターが取付けられたパーツです。モーターは2カ所になります。



アームを固定します。



最高、最低音部の電流ケーブルは余裕を持った取付けにしてください。



アーム固定ネジをはずすことにより、整調用にレールを回転させます。



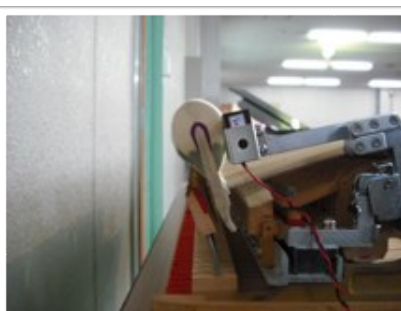
ミュートレールが180度手前に回転させることができます。



通常のグランドアクション整調にミュートレールが邪魔にならずに調整可能です。



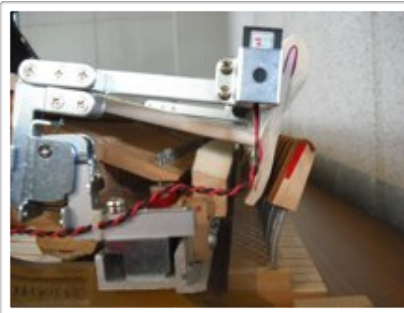
中音ミドルエンド部はテングの鼻に当たらない位置に左右を調整、固定します。



低音部の前後位置です。

アクション出し入れ時の押さえ込み、
スプリングで固定の時にハンマーいっ
ぱいに合わせます。

低音部のモーターアームの取付けた
状態です。



同様に最高音部もハンマーいっぱいに
しました。

アームを各セクション取付け後に
ミュートレールを組立てていきます。

ミュートレールは各セクション間の長
さに合わせて切取り加工します。



ネジ穴を良く考えて切ります。



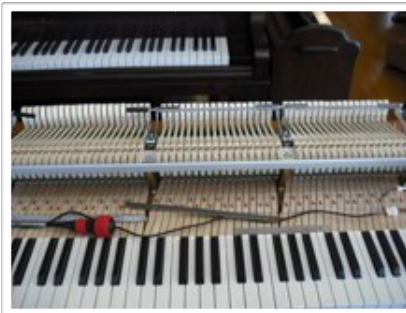
回転レバーとレールの穴との位置をよ
く確かめます。突っ張らず、短か過ぎ
ず、自由な回転を確保してください。



微妙なネジ穴位置の場合、付属の六角
でレバーを少し移動します。



まず、最低音部と最高音部にレールを
取付け、回転をチェックします。

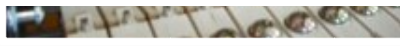


スムーズに回転することを確認後に、
次は次高音部にレールを取付け、さら
にスムーズな回転をチェックします。



最終は中音部にレールを取付け、回転
をチェックすることになります。





レールにクッションを貼ります。
クッションの下とレールの面（つら）
を合わせます。



ミュート状態です。回転をチェック後
に
アクションをピアノ本体へ入れます。



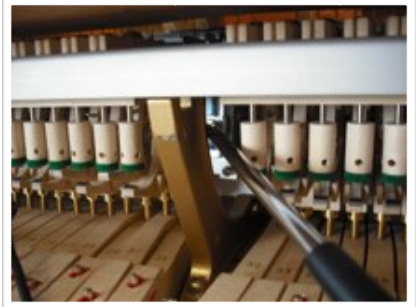
低音部の前後位置です。



最高音部の前後位置です。
中音ミドルエンドまで少し斜めになっ
ていきます。



アクションを入れ、全体のアームの上
下の位置決めを、まず中音ミドルエン
ドのアームで基準を作ります。



ミドルエンド部はブラケットサイドが
少し広いので、+ドライバーが入り易
いです。



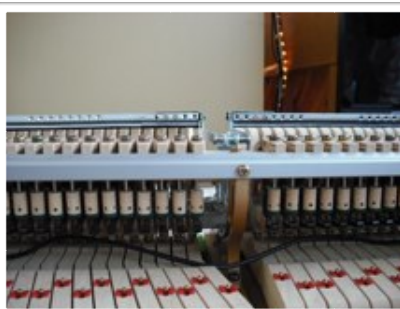
ネジを少し緩め、鍵盤を弾き、アーム
を上下させて、消音される位置を決め
ます。



アームの上下はネジの下の個所をマイ
ナスドライバーで上下させることがで
きます。ピアノ内では仮止めになりま



7 mmのラチェットが必要です。
しっかりとアームを固定します。
必需品ですので必ず購入願います。



ミドルエンドで基準が出来ましたら、
アクションを引き出し、基準に合わせ
大体のアームの高さを揃えます。



ミドルエンドのネジをラチェットで
しっかりと固定しまして、まず最低音
から大体の高さを合わせます。



目安としてドライバーを使いました。
ミドルエンド部です。





低音部のおおよその高さを計っています



中音部、次高音部、最高音部と順に高さを揃えていきます。



おおよそ全体が揃えば、後はアクションをピアノに戻し、微調整ネジにてシャンクストップを調整します。



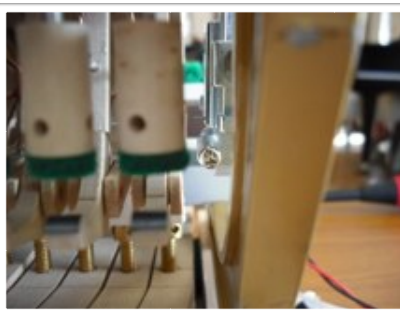
アクションを引き出す際はレール全体を押し上げると固定され、ピン板裏側に接触することなく引き出せます。



ミュートレールの復元は細いドライバー等で、スプリングをはずします。



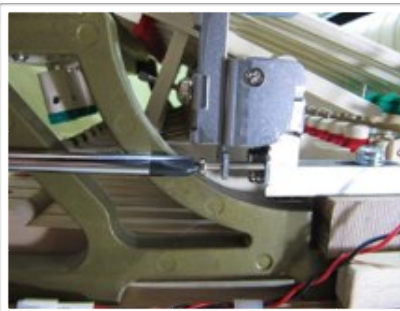
レールが通常ミュートレール位置に復元されたところです。アクションを入れた後も同じ手順です。



消音位置の微調整ネジです。



ブラケットに邪魔されない位置にするため、適宜、左右に入れ替えます。



各セクションのレール上下調整はドライバーで簡単に上下できます。



鍵盤数カ所を同時に叩きながら、消音位置を決めます。



全ての消音位置が決定しましたら、先に抜き差しケーブル3本の位置を決めます。



配線の一例です。





配線の一例です。



全てのケーブルがウデ木より外側ぐら
いに長く取りました。



アクションの出し入れ時にケーブルを
外側へ軽く引っ張るようにするとケー
ブルの干渉なしに出し入れできます。



ケーブルを結線したところです。



結線後は隙間に押し込みました。
鍵盤ボタンにも干渉しません。



今回はモーター用ケーブルはダンパー
ペダルの穴、音源ケーブル、電磁波防
止ケーブルはソステヌートの穴を使用



タナ板裏側の取付け例です。



タナ板裏側の取付け例です。



ペダルセンサーはよく考えて付けてく
ださい。



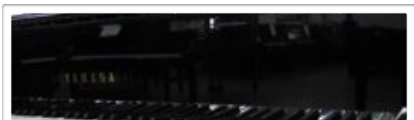
ミュートコントローラー、メインボッ
クス、ヘッドホーン掛けです。

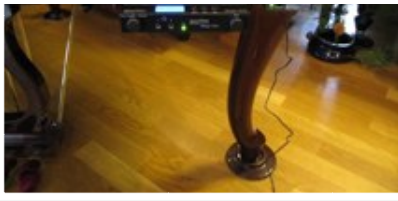


グランドの場合、ヘッドホーンを手前
ではなく、奥側へぶら下げるとスッキ
リします。



アクションを入れた後の配線です。





コンパクトで美しい、Magic Star S



Grand Piano Magic Star S 全体図



Grand Piano Magic Star S 全体図

[マジックスターよくある質問と答え \(Q & A\) はこちら](#)

2 9 5 0



[消音ピアノ
の仕組み](#)

[製品紹介](#)

[製品仕様](#)

[グランドへ
取付け実例](#)

